

6章

剣道のすすめ

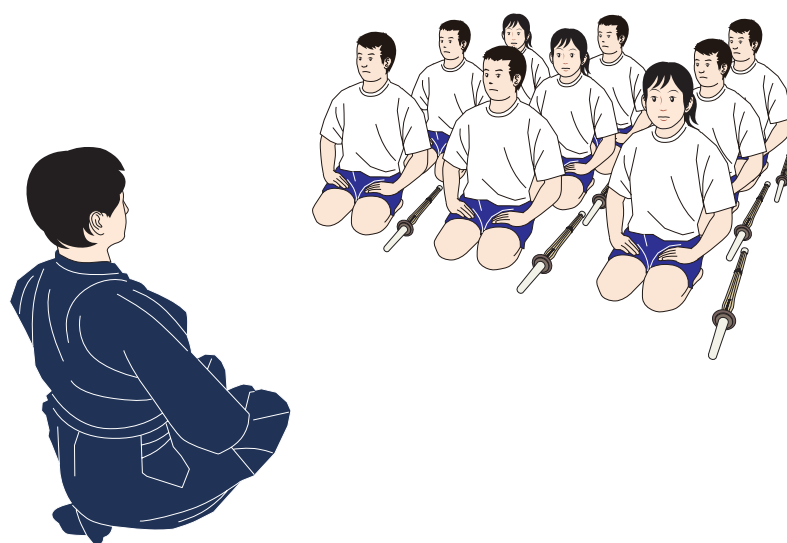
剣道は、相手を攻撃し自分を守るための剣技・剣術などから発生し、長い歴史の流れの中で「術」から「道」へと昇華され、今日まで継承されてきた伝統的な我が国固有の運動文化です。

剣道は常に相手の人格を尊重し、剣道具（防具）・竹刀を用いて互いに打突し合う攻防の展開の中で、有効打突を求めて競い合う楽しさを味わう対人技能としての特性があります。

身体を鍛え、技を錬磨し、心を養うためのよき協力者である相手に対して心から尊敬の念を持ち、端正な姿勢をもって礼儀正しくすることは、互いによりよい剣道を築きあげていく上で大切なことであり、ひいては好ましい社会的態度の育成など人間形成につながることを望めます。

また、心（精神）や技の完成度が勝敗に大きく影響を及ぼすという剣道の技術特性からして、老若男女を問わず生涯を通じて楽しみ、道を求めることができます。

国際化が叫ばれる昨今、他国を理解するとともに、剣道の学習を通して日本の伝統的な考え方や生き方を学ぶことで自国の良さを知り、日本人としてのアイデンティティーの確立に繋げていくなど、剣道を通して武道教育による学びが生徒たちの人生の糧になることを期待するものです。



【執筆者】

松永 政美	全日本剣道連盟副会長
福本 修二	全日本剣道連盟副会長兼専務理事
百鬼 史訓	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員長
目黒 大作	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員
山根大二朗	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員
小澤 博	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員
吉田 泰将	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員
花田 宏	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員
奈良 隆	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員
竹原 勝博	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員
軽米 満世	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員
有田 祐二	全日本剣道連盟普及委員会学校教育部会委員兼幹事

【協力校】

千葉県袖ヶ浦市立平川中学校

千葉県木更津市立富来田中学校

【参考文献】

文部科学省『中学校学習指導要領 総則編』平成 20 年 9 月 25 日

文部科学省『中学校学習指導要領解説 保健体育編』平成 20 年 9 月 25 日

文部科学省『新しい学習指導要領に基づく剣道指導に向けて（学校体育実技指導資料集第 1 集「剣道指導の手引き」参考資料）』

文部科学省・国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 保健体育】武道の評価基準に盛り込むべき事項』

平成 23 年 11 月

全日本剣道連盟『剣道指導要領』平成 25 年 6 月 1 日初版 6 刷

全日本剣道連盟『剣道授業の展開』平成 25 年 4 月 1 日第 3 版

全日本剣道連盟『安全で効果的な剣道授業の展開ダイジェスト版』2014 年 6 月第 2 版

スキージャーナル株式会社『これならできる剣道』全国教育系大学剣道連盟編 2014 年 3 月 31 日初版第 1 刷

H27 子供の体力向上指導者養成研修（教員研修センター）における岩脇資料より